

# ジャカルタ日本人学校 情報活用能力育成計画

網掛けは重点目標

		網掛けは重点目標					
		1・2年生	3・4年生	5・6年生	中学生		
情報活用の実践力	用(1) 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用	ア: コンピュータやアプリケーションソフトの基本的な操作ができる。	コンピュータの基本的な構成を知り、電源の投入・終了ができる。 (国語・算数・生活・図工)	電子データの保存、呼び出し等のファイル操作をすることができる。 (国語・図工・総合)	ファイルやフォルダを整理、検索することができる。 (国語・社会・総合)	目的に応じて、ソフトウェアを利用することができる。 (国語・技家・総合)	
		イ: マウスやキーボードの基本的な操作ができる。	マウスの利用(クリック・ダブルクリック・ドラッグ)等、基本的な操作ができる。 (国語・算数・生活・図工)	ローマ字入力で、自分の名前や短い文章を入力ができる。 (国語・社会・総合)	漢字やかな交じりの文章を入力することができる。10分間に200文字程度文字が入力できる。 (国語・社会・総合)	漢字やかな交じりの文章を入力することができる。10分間に300文字程度文字が入力できる。 (国語・技家・総合)	
		ウ: 電子メールの送受信ができる。			電子メールを送受信することができる。 (国語・社会・総合)	ファイルを添付した電子メールを送受信することができる。 (技家・外国語・総合)	
	理(2) 必要な情報の主体的な収集・判断・表現・発見	ア: 複数のキーワードを組み合わせて、大量の電子情報の中から必要な情報を検索することができる。	教師が準備したリンク集を利用して、検索することができる。 (国語・生活・学活)	検索エンジンにキーワードを入力して、検索することができる。 (国語・社会・総合)	複数のキーワードを組み合わせて、必要な情報を検索することができる。 (国語・社会・総合)	目的に応じて、複数のキーワードを組み合わせて、必要な情報を検索し、より正確なものを選ぶことができる。 (国語・社会・総合)	
		イ: インタビューやアンケート等を行って収集した情報を整理し、要点をまとめることができる。	身近な人から情報を収集することができる。収集した情報を比べたり、まとめたりすることができる。 (国語・生活・学活)	具体的な質問を考え、情報を収集することができる。収集した情報を整理して、必要な情報を取り出すことができる。 (国語・社会・算数)	相手の話に応じて質問を考え、情報を収集することができる。収集した情報を整理・分析・判断することができる。 (国語・社会・総合)	具体的に詳細な情報を得ることを意識しながら、インタビューやアンケート等を行って収集した情報を整理し、要点をまとめることができる。 (国語・社会・総合)	
		ウ: 文字、写真、表、グラフ等を組み合わせて新聞やカードを作成し、調べたことや自分の意見を表現できる。	文書や図の情報を整理して、まとめることができる。 (国語・算数・生活)	文書や図の情報を基にして、表やグラフを作成することができる。 (国語・社会・算数)	ソフトウェアを利用して、表やグラフを作成することができる。 (国語・算数・理科)	目的に応じて、文字、写真、表、グラフ等を組み合わせて新聞やカードを作成し、調べたことや自分の意見を表現できる。 (国語・技家・総合)	
	状況(3) 発信・受け継ぎ・伝達	ア: 自分の考えや気持ちを体験した様々な情報発信の方法から適切な方法を選び情報発信できる。	自分の考えや感想を発表したり、相手の発表を聞いたりすることができる。 (国語・算数・生活・図工)	自分の考えや感想を新聞やポスターにまとめ、相手に表現・発信することができる。 (国語・社会・総合)	プレゼンテーションの構成を考え、ソフトウェアを利用して表現・発信することができる。 (国語・社会・総合)	目的に合わせて効果的な表現・手段を選び、表現・発信することができる。 (国語・技家・総合)	
		(1) 情報手段の特性の理解	ア: メディアの特性や仕組みについて知る。		身の回りにはデジタル化した様々なメディアがあることがわかる。 (国語・社会・総合)	デジタル化した情報の特徴がわかる。身の回りのメディアの特徴や活用場面がわかる。 (国語・社会・総合)	デジタル化した情報を統合する方法がわかる。様々なメディアの長所や短所と、目的に合った活用の仕方がわかる。 (社会・技家・総合)
			イ: 情報通信ネットワークの特性や仕組みについて知る。	教師用のコンピュータと児童用のコンピュータが接続されていることがわかる。 (算数・図工・学活)	コンピュータは、ネットワークに接続されて活用されていることがわかる。 (国語・社会・総合)	インターネットについて、おおよその仕組みがわかる。 (国語・社会・総合)	様々な情報通信ネットワークの仕組みがわかる。 (社会・技家)
ウ: 計測や制御の仕組みについて知る。プログラミングすることができる。	データを並べたり、まとめたりすることの利便性がわかる。 (国語・算数・生活)		付箋を用いて情報を整理する方法がわかる。 (国語・社会・総合)	表やカード、付箋紙を用いた情報を構造化する様々な方法がわかる。単純な命令を組み合わせて、簡単なプログラムを作ることができる。 (国語・総合・図工)	ソフトウェアによるデータの整理の仕方がわかる。自分でアルゴリズムを考え、簡単なプログラムを作ることができる。 (技家)		
方基改(2) 法的活用(2) 自ら評価・改善の意識をもち、情報の活用を改善する。	ア: 自分の発表や情報収集の方法について分析・評価・改善ができる。	自らの発表の仕方をふり返ることができる。 (国語・生活・学活)	自らの情報収集や表現の仕方をふり返ることができる。 (国語・社会・総合)	自らの情報活用の仕方をふり返り、改善の方法を考えることができる。 (国語・社会・総合)	自らの情報活用の仕方について、成果や過程を基に、改善の方法を考えることができる。 (社会・技家・総合)		
	(1) 情報や情報技術の役割や及ぼしている影響の理解	ア: 情報発信による他人や社会への影響力を理解し、行動することができる。	相手の気持ちを考え、行動することができる。 (生活・道徳・学活)	相手の感じ方を考えて、適切な表現で情報を発信することができる。 (国語・道徳・総合)	相手の状況や感じ方を考えて、責任をもって情報を発信することができる。 (国語・社会・総合)	情報発信による社会への影響や自分の責任について考えて、行動することができる。 (社会・技家・道徳)	
		イ: 収集した情報が正しいかどうかを判断し、適切な方法でトラブルを解決することができる。		情報には古いものや誤ったものもあることがわかる。 (国語・社会・総合)	意図的に変更された情報があることがわかる。 (国語・社会・総合)	情報を吟味して、適切な判断をすることができる。トラブルに遭遇したときに、適切な方法で解決することができる。	
ウ: 情報セキュリティについて理解する。		不必要に個人情報を教えてはいけないことがわかる。 (生活・道徳・学活)	個人情報保護の大切さを知り、IDやパスワードの重要性がわかる。 (道徳・総合・学活)	情報セキュリティの重要性を知り、ウイルス対策やフィルタリングの必要性がわかる。 (道徳・総合・学活)	SNS等での情報の送受信に伴い、発生する問題について適切に行動することができる。		
(2) 情報モラルの必要性や情報に対する責任	ア: 情報モラルの必要性や情報に対する責任について理解し、行動することができる。	約束やきまりを守ることができる。 (生活・道徳・学活)	情報をやり取りする場合のルールやマナーを知り、守ることができる。 (社会・道徳・総合)	契約行為の意味を知り、規約を確認して適切に行動することができる。 (社会・道徳・学活)	情報の保護や契約に関する法律を知り、適切に行動することができる。 (社会・技家・総合)		
	イ: 情報に関する自他の権利を理解し、尊重することができる。	人の作ったものを大切にすることができる。 (図工・道徳・学活)	著作権について知り、個人の権利に配慮することができる。 (国語・社会・道徳)	肖像権について知り、個人の権利やプライバシーに配慮することができる。 (国語・道徳・総合)	人格権や肖像権など、個人の権利を尊重することができる。 (国語・音楽・美術)		
	ウ: 健康に配慮して情報機器を使うことができる。	決められた利用時間を守って、情報機器を利用することができる。 (生活・道徳・学活)	健康のために情報機器の利用時間を決めて、守ることができる。 (体育・道徳・総合)	健康に配慮した情報機器との関わり方を考えて、行動することができる。 (家庭・体育・総合)	自他の健康を配慮した情報機器との関わり方を考えて、行動することができる。 (保体・技家・道徳)		
(3) 情報社会への参画する態度	ア: ネットワーク上のコミュニティに進んで関わり、適切に行動することができる。	公共のものを大切にすることができる。 (生活・道徳・学活)	ネットワークのよさを知り、協力し合っ使用することができる。 (社会・理科・総合)	ネットワークが公共のものであることを理解して、適切に行動することができる。 (国語・社会・総合)	ネットワーク上のコミュニティに進んで関わり、適切に行動することができる。 (技家・道徳・総合)		